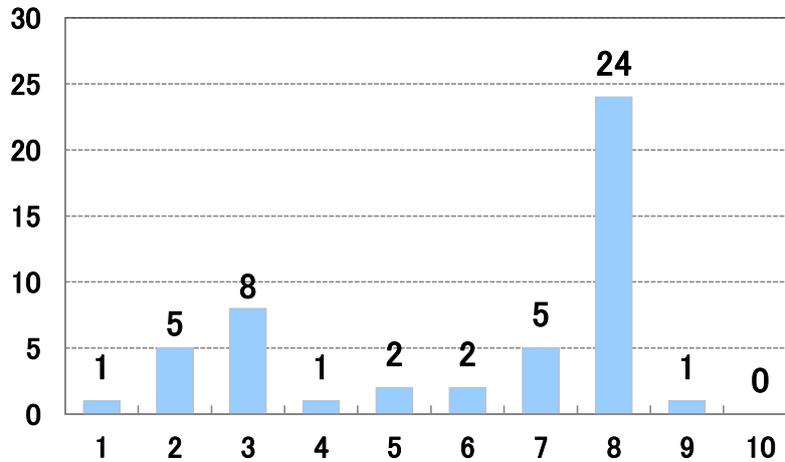


[1] 回答者数

MC1	33
MC2	8
DC1	4
DC2	1
DC3	1
DC4以上	1
PD	0
その他/教員など	1
計	49

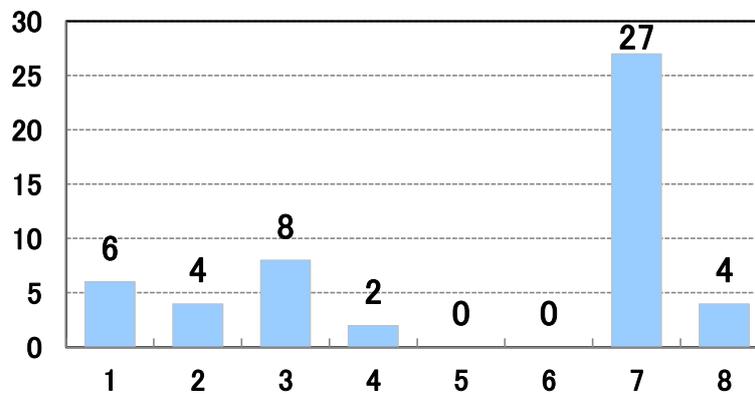
[2] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院
 5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院
 9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



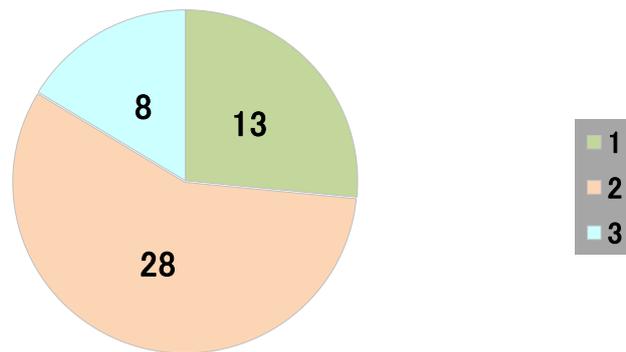
[3] あなたの出身学部を教えてください

- 1.理学部 2.工学部 3.農学部 4.薬学部 5.獣医学部 6.医・歯学部 7.水産学部 8.その他



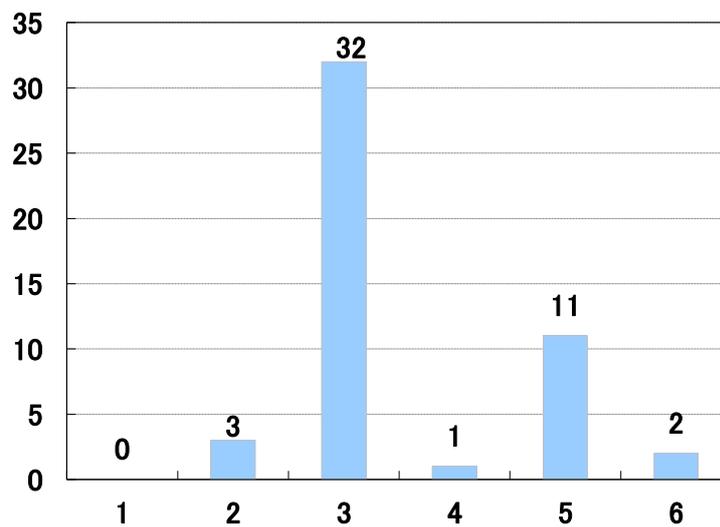
[4] 人材育成本部主催のセミナー等受講は初めてですか？

1.初めて 2.2回目 3.3回以上



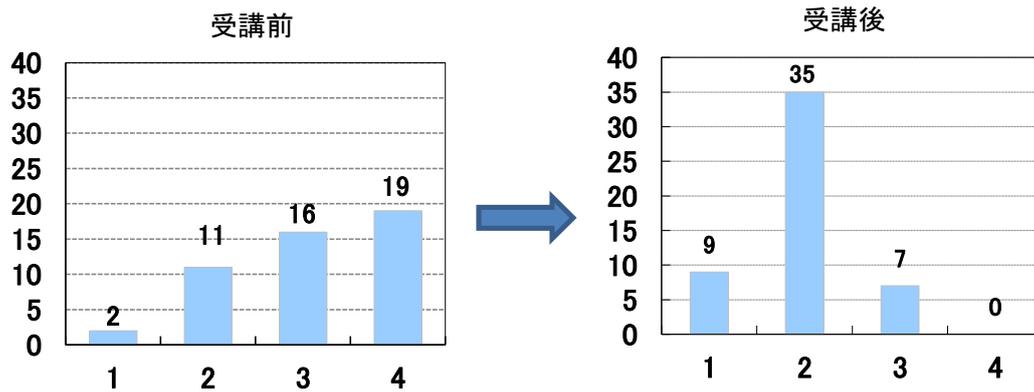
[5] どのような分野への就職を希望しますか？

1.大学教員 2.国立研究所/試験所 3.企業研究開発部門 4.中学・高校教員 5.その他
6.今は考えていない



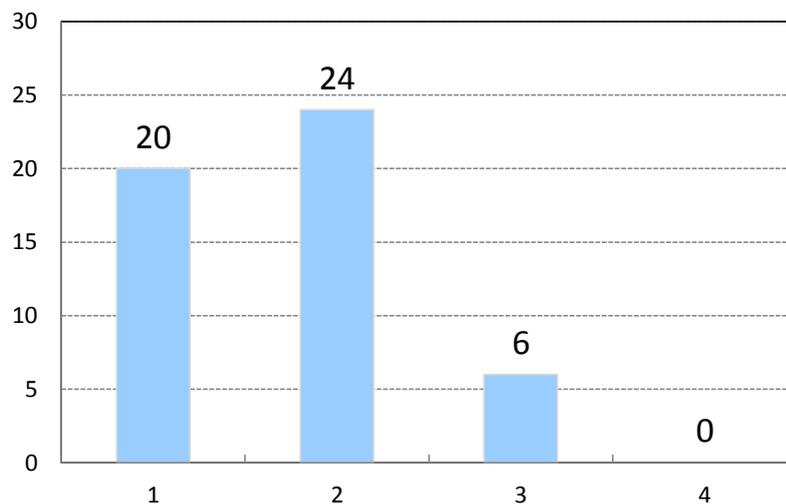
[6] 知的財産、あるいは知的財産業界や弁理士についてあなたはどの程度理解していますか？

- 1.具体的によく理解している 2.ある程度理解している 3.あまりよく理解できない 4.まったく理解できない



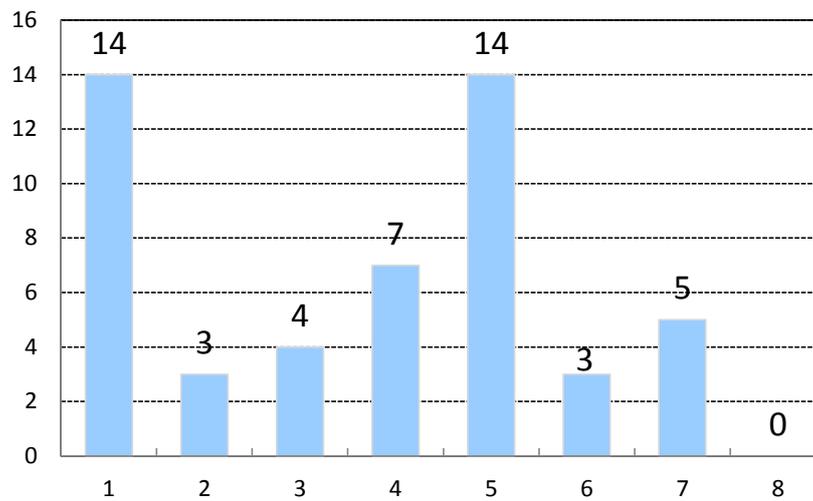
[7] 知的財産権、あるいは知的財産権を扱う仕事について、あなたは？

- 1.大変興味深かった 2.ある程度興味は感じた 3.あまり興味がわかなかった
4.全く興味がわかなかった



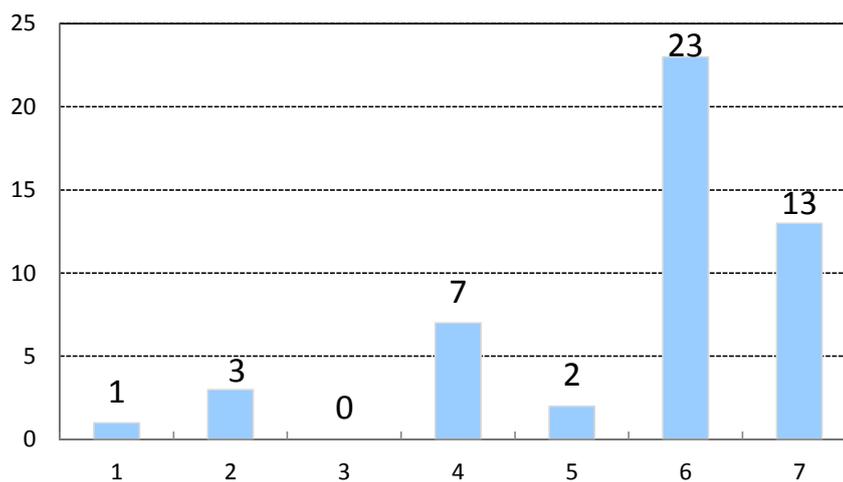
[8] セミナー開催はどのようにして知りましたか？

1. 教員からの情報
2. 友人/知人
3. 人材育成本部HP
4. 人材育成本部からのメール
5. 掲示板ポスター/ちらし
6. 大学院入学ガイダンス
7. 他の講義での紹介
8. その他



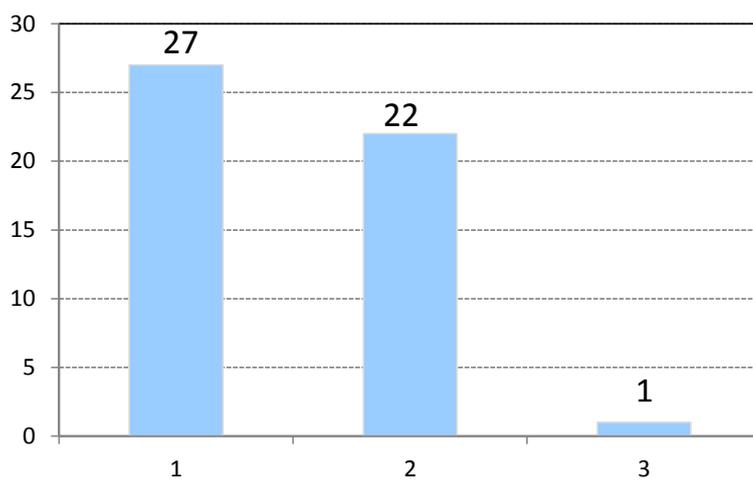
[9] セミナー参加の理由は？

1. 教員に勧められた
2. 友人/知人に勧められた
3. 自身の業務と関係あり
4. 知的財産権に興味あり
5. 弁理士資格に興味あり
6. 将来役立つ知識を得る
7. その他



[10] このようなセミナーにまた参加したいと思いますか？

1.是非参加したいと思う 2.テーマ次第で参加する 3.もう参加しないと思う



H26 キャリアパス多様化支援セミナー（番外編）アンケート／自由記入欄

[2] キャリアパス多様化支援セミナーで参考になった事や、印象に残った事などをご記入ください。	
1	知的財産権の重要性が分かり、研究活動には必要不可欠であることを学びました。研究部門、知的財産部門のどちらに所属するにしても、互いの部門を理解して働けるようになりたいと思いました。青木先生の研究職から部門の移り変わりの話が面白かったです。
2	講師の皆さまが、知的財産に関わる前に何らかの別部門で働いた経験があるという点が印象に残った。
3	企業の方が説明された実際の業務内容の詳細
4	各国によって知財を取り巻く環境が異なる事、今後知財が会社の重要な部署になりつつあることを理解することが出来ました。
5	知財部の仕事において、弁護士の選択や共同研究相手との交渉なども大きなウェイトを占めていることが分かった。
6	知財の話がたくさん聞けて良かったです。
7	知財権がいったいどういうことか？どういう点で重要なのかというのを3人の話を通して理解することが出来た。
8	今後のキャリアを考えるにあたって、可能性の一つとして参考になった。
9	技術者と知財の人間が想像していたよりも密接にコンタクトしているということ。モノづくりではなく、知的な財産を作る時代に変化しているということ。
10	知財に関する仕事があること自体知らなかったのので、知財担当という仕事の存在を知ることが出来た事とその仕事内容について学ぶことが出来た。
11	様々な視点からキャリアパスを考えることが出来ました。
12	現場の人の事を聞いた。
13	会社でのモラルの重要性。青木さんや井上さんの話し方、相手を安心させるような口のトーンの柔らかさが印象的だった。相手の国を知ること。コミュニケーション能力の重要性。
14	研究技術職から特許事務所へ転職された青木先生のキャリアが意外だった。
15	全く未知の知財の世界を知ることが出来、理系でも研究職以外のキャリアが広がっていることを実感しました。
16	知財が、企業の中でどんなに存在が大きいかわかって驚いた。
17	知財の価値は価格の改定と質の保証が出来ることであり、産業の衰退を防ぐ。パナソニック、シャープ、日清食品など大企業の創造者は積極的に知財活動をしてきた。
18	知的財産にはどういった種類のものがあるのか。また実際に行われてきた訴訟の話が印象に残った。
19	色々な事においてグローバル化が広がっている事。財産権の行使の仕方は非常に望ましいと思いました。
20	グローバル化社会において、日本企業が生き残っていくために必要なことについて、（知的財産を守ることの重要性について）知ることが出来ました。思っていた以上に理系学生の持つポテンシャルを知財での仕事に具体的に活かしていくことが出来ることを知り、そちらへのキャリアパスも考えたいと思いました。
21	知財の知識的な部分のみならず、いかに企業戦略として使っていくかなど、実際の話も多く伺うことが出来た。
22	知的財産の知識はほぼゼロで受講しました。ひとりひとりの先生の発表がとても興味深く普段の生活の中では得ることのできない情報を得ることができ収穫の多いセミナーでした。
23	知財の「現実的な」運用例。後出しじゃんけんともいえる、類似した知財を所持している会社への訴訟例。（後出しした方が負けているが・・・）
24	企業の知的財産が知的社会の競争力の源泉となっていることを実感できた。
25	専攻分野にとらわれず、様々な分野で活躍していることを学べた。キャリア選択のアドバイス。
26	自分が企業で働く、ということに関してほとんどのことを知らないため、今回は知的財産という部門がどのような仕事であるかを知ることができて良かった。知的財産部が研究、発明に深くかかわっていることを知って興味が湧いた。
27	食品業界の健康食品など、自然物から抽出した有効成分は特許をとりにくいというのは印象に残った。
28	Systemexの井上先生のお話の中で、理系で学んできた分野と全く異なる知的財産が技術と並行していかに必要であるかを知った。
29	知財というものを初めてしっかり学べた。
30	研究開発のみが進路ではない。
31	まず知らない分野の話が聞けた事が良い勉強になった。

H26 キャリアパス多様化支援セミナー（番外編）アンケート／自由記入欄

32	企業にとって知識、技術は非常に重要な財産であるということを知ることが出来ました。
33	知的財産権についてほとんど知らなかったため、とても勉強になった。
34	「ものづくり」は、知的財産になるところまで進めるものである。井上さんのお話が印象に残りました。
35	知財に対して、具体的な事例（特許紛争や侵害の判定基準、社員教育など）を多く聞く事が出来た点が非常に参考になりました。知財マンとしてだけでなく、企業で働くことがいままでもより具体的にイメージが出来るようになりました。

[3]	今後、キャリアパス多様化支援セミナーで講演してほしい講師の分野（企業／業種）を教えてください。 *一部樋口直樹教授からのコメント・回答を記載しております。
1	技術畑出身で現在は経営に携わっている経歴の方の講演を聴いてみたいです。→経営のどのレベルかにもよりますが、大会社の社長クラスはちょっと難しいですね、ベンチャーなら可能です。
2	企業での研究に興味があるので、どのような研究が行われ、どのような分野が必要とされているのかなどを講演して頂きたいです。研究の環境などにも興味があります。特にどのように数学が研究で使われているのか、数学の必要性についても講演して頂けるととても助かります。→8月開講のA-COSAはご希望のような視点での講義になります。数学はいろんな分野で重宝されています。
3	理系研究所等の広報分野で働いている方→かなりニッチな領域ですので、多くの希望があるか？
4	製造業や様々な職種の中で、その学部専門でない人（電気メーカーか自動車メーカーで農学部、理学部卒の人や食品メーカーで工学部の人）の話を聞きたい→次回A-COSAのパナソニックの若手先輩は農学院出身ですよ。
5	民間だけでなく、公務員（中央省庁、都道府県、市町村）から見た知的財産の視点についても講義で聞きたいです。（防衛省の技術本部や国土交通省の公共インフラ、産総研など）公務員として働く上で、知財をどのように扱っているのかを知りたい。→公務員は一般的に知的財産に対する意識は民間と比較して低いです。また、防衛関係の話は難しいでしょうね。
6	メーカーの開発現場で働く人々の話も聞いてみたいです。是非、A-COSAを受講してください。
7	製造業（特に化学系）の話をたくさん聞きたい！自分は農学院に在籍しているが、研究分野は理や工に近い内容であり、就職活動の際、自身でうまく説明できるか不安を感じている、何かそういった特殊な経歴を持つ人の話が聞きたいです。→是非、A-COSAを受講してください。
8	理系中心というのは少し言いすぎなので研究職の人の講演を聴いてみたい。
9	製薬、臨床など→是非、A-COSAを受講してください。
10	研究、開発職が具体的にどんな仕事なのかを業種別（食品、電気、医療、情報等）で講演して欲しい。また、企業の研究職、研究所の研究、大学の研究それぞれの違いを具体的に聞ける講演があると良い。→是非、A-COSAを受講してください。次回は、製薬／食品、化学、商社、電気です。
11	食品や農業分野でもしあれば講演して頂きたいです。→是非、A-COSAを受講してください。大塚製薬が来られます。パナソニックも植物工場の話です。
12	研究・開発系の人と文系の職の人に同時に招いて、同一の課題について考え着眼点の比較など。→シラバス登録の主旨から文系の人に来ていただくのはキャリアパス多様化支援セミナーになると思います。考えます。
13	アカデミックからの企業（ベンチャーなど）、ユーグレナの会社→近々に検討します。
14	外資系の企業の方に講演して頂き、日本のメーカーと外資にどのような違いがあるのか知りたい。→去年はBOSCHでした。
15	外資系企業の外国人経営者の話を聞いてみたいです。
16	食品系の営業職について日々変化する消費者ニーズをどのように読み解くか。→マーケッターの話ですね、検討します。
17	食品、飲料を扱っている企業の商品開発部門の方。→是非、A-COSAを受講してください。大塚製薬の半谷部長は北大OGでもあり、ポカリスエットの開発責任者でもあります。
18	企業支援を行っている側からの知的財産の取り扱い方。
19	理系学生が通常関わらないような職業や業種、職種。経営者や金融関係、商社など。そういう意味で丸紅の方の話は楽しみです。仮に理系学生が進まないような業種だとしても、必ず関わることがある。理系学生は経済的なモノの見方、考え方がかなり希薄。→是非、A-COSAを受講してください。丸紅の大橋部長は理系大学院出身の商社マンです。
20	人材育成本部のお願いするのは矛盾があるかと思いますが、今回のように修士の人間が参加できるようなテーマがあれば題材として取り上げて欲しいと思います。→是非、A-COSAを受講してください。MCも単位が取れますし、参加できます。
21	商社、コンツェルン。→是非、A-COSAを受講してください。丸紅が参加します。
22	食品（特に微生物培養により産生された成分を用いて食品などに応用している企業）→検討します。
23	総合商社→是非、A-COSAを受講してください。丸紅が参加します。

H26 キャリアパス多様化支援セミナー（番外編）アンケート／自由記入欄

24	公的研究機関
25	機能的食品素材
26	3M
27	食品、製薬、商社、マスコミ→是非、A-COSAを受講してください。次回は、製薬／食品、化学、商社、電気です。
28	特に実際に企業で活躍している人をゲスト講師として呼んでほしい（分野にかかわらず）→是非、A-COSAを受講してください。
29	食品→是非、A-COSAを受講してください。
30	研究、技術開発の方の話を聞きたい。→是非、A-COSAを受講してください。
31	大企業と中小企業の方を混ぜてセミナーを行うことでお互いの良いところがあるようになるチャンスになると思います。→そうですね、次回以降検討します。

[4] キャリアパス多様化支援セミナーについての感想・要望などをご記入ください。 *一部樋口直樹教授からのコメント・回答を記載しております。	
1	どれも興味深い内容ですが、時間が長いように感じます。研究室に所属していると、なかなかまとまった時間をとることが難しいので、セミナーを2時間程度の長さにするか、各講演の間の休憩時間を長めに設けてその間の出入りを自由にすればもっと気軽に多くの方が参加されるのではないかと思います。→ご要望は理解しますが、ご自身の都合だけで物事を見ないようにしてください。講師の先生方はこのために準備をされて、大変忙しい中、わざわざ札幌まで来ていただいているのです。
2	セミナーの内容の概要をある程度あらかじめ告知して頂けると助かります。→事前にある程度調整していますが、非常にお忙しい先生方をお願いするにあたり、資料準備はほぼ直前になります。ご理解下さい。
3	知的財産は会社の経営から商品開発まで幅広く知識が必要だと初めて知り面白かった。文系・理系に関わらず活躍できる分野だと思った。
4	時間の都合がどうしてもつかず、途中までしか参加できませんでしたが、今まで何となく理解していた知財のことについて、企業の方の話をまじえて具体的に理解することができ、今後の進路の候補の1つとして考えることが出来るようになりました。
5	知財関係業務のキャリア紹介であれば演者は弁理士であるべきです。→弁理士は知的財産権を法的に扱うことのできる資格ではありませんが、研究をし、発明を創出するのは研究者なのです。弁理士は知財を扱う人たちの一部でしかありませんし、資格が全てでは当然ありません。法的には弁護士は弁理士を代行できます。弁理士にもピンキリあります。演者の中にも弁理士はいましたよ。
6	企業における知財部門の重要性を確認することが出来ました。できれば公務員側からの視点についても知りたいです。
7	現場など具体的なエピソードを交えて話をしていただけでイメージしやすく分かりやすかったのが良かったです。
8	せっかく質問用紙を回収する形式にしたならば、座長が集めた質問をうまく回していく方が良いと思った。→具体的には？
9	ためになる話が多く、初めてこういう舞台上で質問することが出来た経験が今後の収穫に成り得そうだった。
10	普通では聞く事が出来ない話を聞けたのでとても良い経験になりました。
11	面白かったです。
12	今回のようにテーマを持って色々な企業の方々の話を聞く機会を増やして欲しい。あまり定員が多くない（今回のような規模）ものを多く開催して欲しい。
13	おもしろい話ばかりであつという間の時間でした。
14	パネルディスカッションがとても良かった。
15	バイオ創造学で知財について学びましたが、実際に知財を扱う仕事をされている方の話は非常に具体的であり、重みを感じました、これから卒業して会社で働く上で非常に大切な事を学ばせて頂きました。
16	これまで知財に関する講義はほとんど受けていなかったため、今回大変勉強になりました。
17	（基本的に学生に問題がありますが）より双方向のディスカッション・対話ができるような誘導があればよい（質問シートのシステムも良いと感じていますが）→良いアイデアがあれば是非お知らせ下さい。
18	函館のポリコム中継を嫌って現地で受講しました。札幌で見ている分ではとても親切に函館への対応がされており、人材育成本部の皆様の努力は本当にありがたいと思います。自分としてはポリコムでは不可能な演者の声や表情を明瞭に判断できる直接の講義を受講でき、出向いた意味があったと思います。
19	研究ありきで話が展開されているような気がして、研究に携わらないような職種を希望している自分としては講演内容にもう一步乗り込めなかつたです。→切り口が知的財産権なので、研究開発と密接に繋がっています。具体的にどのようなことを希望されているのでしょうか？

H26 キャリアパス多様化支援セミナー（番外編）アンケート／自由記入欄

20	就活にも使えそうな知識を得られた。
21	スライドのハンドアウトが欲しい。→外部講師のお話の場合、企業の情報保護ポリシーもあり、配布資料なし、のことが多いです。しかしその分、深い話しが聞けたり、質疑で回答を引き出す（ここだけの話し！とか）おもしろさが出てくるわけです。
22	仕事について知るきっかけとなるので良かった。実際に働いている人の話が聞けるので、信頼できる情報だと思う。
23	会社内のシステムについて自分は全く理解していないが、会社の一員として自分の仕事にやりがいを感じて講演者の方には仕事をされているのだと感じた。
24	函館での環境をもっとよくして欲しい。→具体的には？音声等にはかなり配慮したつもりですが・・・。
25	もっと開講数を増やして欲しい。→人材育成本部で対応できるぎりぎりの線で活動しています。ご理解を。
26	今後、就職した後に役に立つお話を聞く事が出来て良かったです。
27	終了時間は守ってほしい。→申し訳ない、論議が白熱したのでご理解を。
28	知的財産部で活躍されている方々の仕事内容や個人の経験が聞かれて大変勉強になりました。今後の要望なんですが、マーケティング（営業）+研究・開発+知的財産の一連の方を招待してセミナーをしていただければ、全体的な会社の仕事内容が理解でき、多様な質問と部署間の話が聞かれ面白いと思います。→そうでしょうね、今後の課題とします。
29	若手、中堅、ベテランと幅広い年代、キャリアの人の話が聞けたのがとても良いと思います。知財は権利でそれをどう使うかは人次第という点に知財を扱う仕事の魅力を感じました。

[5] S-cubicへのご意見・ご要望などをご記入ください。 *一部樋口直樹教授からのコメント・回答を記載しております。	
1	これからも様々なセミナーを開催してってください。別の時間帯か日程でセミナーを行っていただけるとありがたいです。
2	講演中に写真を撮りすぎるのではないのでしょうか。フラッシュと音が気になりました。→税金を使って行う講義なので、証拠を残しておく必要があります。ご理解を。
3	単位につながるイベントは履修登録方法や単位取得に必要な要件をもっとはっきり明示して欲しい。→水産科学院の方ですね、そちらの単位化の仕組みは人材育成本部では判りません。札幌は単位認定科目ではないのです。
4	先生方のお話が少し重複する場面があり、限られた時間なので少しもったいなく思いました。事前に内容を分担して話を頂けるとより有意義であったと思います。→前にも書きましたが、お忙しい先生方に事前調整するのは非常に難しい面があります。それなりに調整はしていますので、本質を汲み取りいただき、細部はご理解下さい。
5	MCへの求人が少ないように感じます。DC/PDの方々が第一優先だというのは重々理解しているのですが、赤い糸会のようなすばらしいイベントに参加できない背景を加味してもらえると嬉しいです。
6	知的財産について、現役で活躍している人から学べるというのは非常に良いと思います。世界的なビジネスの動向についても学ぶことができるので、これからも是非続けて頂きたいと思います。